

編集 後記

新年度になって早3ヶ月が経とうとしていますが、最近の世の中の流れが頗る激しいと感じませんか？ 国外では、オリンピック開催を間近に控えた中国の事件と天災、米国における景気減速と大統領候補の指名選挙、世界的規模の原油と食料の高騰など、全世界を揺るがすような出来事が続いています。国内をみても、気象異変や地震などの自然災害もありますが、私どもの立場からいうと、社会保障の根幹に影響するような変化とそれに関連する混乱が今年度から目立ち、今後益々混沌しそうな雰囲気です。4月から医療制度改革の柱として後期高齢者医療制度と特定健診・特定保健指導が開始されましたが、いずれも各方面から様々な反応が起こり、今や国民的な議論の的になっています。当然、公衆衛生の多くの現場に、直接的かつ間接的に影響するのは必至であり、この雑誌の読者も社会基盤や環境の急激な変化に気をもんでいることと察せられます。

このような慌ただしい世間の動きに関連した話題について関心が向かいがちな中で、今月号の原著論文は、新しい技術である結核菌の遺伝子解析の登場が結核患者の感染実態と感染源の究明に大きな進歩をもたらしていることを示したもので、難航する捜査に有力な証拠が得られて事件の解明につながるような推理小説を読むようで、知的好奇心を刺激しました。

疫学の目的の一つに病気の原因を探ることがありますが、一般的には、病気と要因との関連性を統計的な手続きにより推論していくことが多いように思います。しかし、原因を探るといふ言葉には、事件の背後の証拠を丹念に調べて事件に至るまでの全貌を解説していくという

次号予告 (第55巻・第7号)

原著

低栄養と介護保険認定・死亡リスクに関するコホート研究
鶴ヶ谷プロジェクト……………東口みづか, 他
日本人女性の婚姻動向における年齢・時代・コホートの効果と出生動向との関連 (1985-2005年)……………内田博之, 他

資料

中高年者における尿失禁に関する調査……………道川武紘, 他
病院における高齢者への退院支援の実施状況の調査
在宅ケア事業所の関与に着目して……………中西三春, 他

連載

臨床経済学の基礎(13)……………大久保一郎
親子保健・学校保健(5)……………大木秀一
運動・身体活動と公衆衛生(5)……………田中茂穂

推理という行為にも似た響きを感じられ、本論文には、「推理する医学」としての疫学のスタイルを感じさせるところがありました。

編集後記を久しぶりに書かせていただいたので、少し偏った内容になった感がありますが、ご容赦お願いいたします。

単に論文を掲載するだけでなく、その論文をきっかけに色々な議論が起こることも学術雑誌に求められるのではないかと思います。(内藤義彦)

第54回東海公衆衛生学会学術大会のご案内

開催日：平成20年7月26日（土）

場 所：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

（静岡市駿河区馬淵1丁目17-1, JR 静岡駅から徒歩10分）

大会長：青木伸雄（静岡県厚生部理事，静岡県総合健康センター所長）

内 容：メインテーマ「生活習慣病の新しい予防時代における公衆衛生の役割」

特別講演「生活習慣病の新しい予防時代における公衆衛生の役割」

水嶋春朔教授（横浜市立大学医学部社会予防医学講座）

シンポジウム「生活習慣病予防の実践活動」、一般演題

付随行事：公開講座（静岡県主催）、サテライト集会：いきいき公衆衛生の会東海

参加費：東海公衆衛生学会会員：1,000円 非会員：2,000円 学生：500円

※学生区分は、大学生及び専門学校生（大学院生は含みません）。

大会事務局：静岡県厚生部管理局政策監

TEL 054-221-2404 FAX 054-221-3264

E-mail koukikaku@pref.shizuoka.lg.jp

学会 HP：<http://tpha.umin.ac.jp>